

年

頭

の

ご

あい

さい

さ

つ

得意分野を見極め前へ

補修市場にしっかりとした軸足を

日本自動車部品協会理事長 松村正史



内在需要は大

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎えるにあたり、皆様

のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、新年のご挨拶を申し上げます。

国内の経済は、中国経済の減速、領土問題から派生した日中経済関係の悪化、引き続きの欧州金融不安による世界経済減速の懸念、一向に

おさまらない円高などの状況が重なり、甚だ不安定な状態が続いております。さらに政治の混迷も一層増してくる中で、先行きはますます不透明で、むしろ減速感が強まってきた感があります。

その様な状況で、日本経済全体が過剰に悲観的な気分になっているようにも思えます。

一方、この補修部品業界も今後のエネルギー資源の制約、環境問題の高まり等から次世代自動車の普及が加速される事が予想されることから、業界の先行きを不安視する声が多く聞こえてきます。

但し、本当に業界の先行きは不安かと言うと決してそうではないと思います。

補修部品業界に限らず、厳しい経営環境、大変な不況、個々の産業や企業の衰退等は何時の時代にもありました。

確かに業界として様々な潜在する問題を抱えているのも事実ですが、それらを考慮しても、自動車の使用年数は年々延びる傾向にあり、車検、整備、修理の機会もそれに伴ってこれまで以上に増えてくることから、当面補修市場において内在する需要はまだまだ大きいと思います。

改めて以前JAPPAのキャッチフレーズであった「補修市場は宝の山」という言葉を思い出します。

とはいえ、なにもしなければ、どんな企業でも衰退は免れません。市場の動向に一喜一憂し将来に不安を持つだけでなく、前向きに立ち向うことが必要だと思います。

その為には、今後、企業として、次世代自動車の普及に伴う技術変化に対応すること、それに伴う新たなビジネスチャンスの獲得を模索すること、異業種との連携を視野に入れた事業展開なども必要になってくるかもしれません。

それらを含めて、企業として今後継続、発展していく為には、例えば既存のビジネススタイルを守りながら、健全経営に徹する、時流を読んだ新しいビジネスを確立する、規模

を拡大する、オンリーワンを目指すなど選択肢はいくつもあると思います。

もちろん、将来を見通し、どの道を選択するかは各企業の判断ですが、今やらなければならないのは、困った時は市場から学べとよく言われます様に、謙虚に市場と向き合い、個々の企業が自分の進むべき道を真摯に模索することがなにより重要だと思います。

この業界の良い点は、震災の時もそうであったように、しぶとくあきらめないところだと思います。

先ず、経営者自らが進むべき道を決める強いリーダーシップと、なにかあっても事業を継続すると言う強い意志を持ち、そして企業として自らの得意分野を冷静に見極め、補修市場にしっかりとした軸足を持つて、愚直に前へ進むことが今は大事だと思っています。

新・優良部品推奨制度

さて、昨年の5月に40年ぶりに制度の見直しを行いました「優良部品推奨制度」についてですが、改めて申すまでもなく、この制度は、これ

までJAPPAの活動の柱となってきた制度で、40年前のまだ優良部品という名前も浸透していなかった時代から、この制度と業界に係わる方々の努力のお陰で、今日優良部品はその優良部品という名称とともに、汎用性があり、廉価かつ品質の良い自動車用補修部品であるとの認識も広く知られることとなりました。

JAPPAとしては、これからも国内、海外を問わず、粗悪品、模倣品を絶対に流通させないということを中心に、この制度を有効に活用して、優良部品の普及はもとより、品質の良い商品、市場で安心して使ってもらえる商品だけを選別して流通させることで、業界の信頼と社会の安心と安全に貢献していきたいと思っております。

新制度の具体的な進捗状況ですが、新たな制度に基づき、昨年の末までに既に27社の部品メーカーから申請を頂き、全社が認証を取得されました。

同時に推奨マークについてもデザインを一新し、製品への表示はもとよりポスター、ステッカーの作成なども検討しながら、その浸透、知名

度のアップを図り、一般ユーザーでも、だれもがこのマークがついていれば、安心して使える、使っても大丈夫だと思ってもらえる様に、普及を図りたいと思います。

また、模倣品への対策として新しい推奨マークの商標登録を国内では現在申請済みで、今その認可を待っている状況です。

海外につきましても、随時進めて行く予定にあり、引き続きこの制度を有効に活用し、海外での認知度の向上とともに模倣品の排除を図っていきたくと考えております。



新しい推奨マーク

なお、更なる優良部品、推奨制度の普及を図る上では、できるだけ多くの部品メーカーに推奨を受けて頂き、流通を担う各社が新しい推奨マークまた推奨制度の市場での浸透を図ることが肝要だと思えます。

そして、推奨制度を活用し優良部品というブランドに一層磨きをかけ、これまでの汎用性があつて廉価といった強みだけでなく、さらに安心という価値を付け加えることによって、だれもがこのマークの付いた優良部品であれば安心して、信頼して使えると思つて頂くまでに浸透を図ることがなにより大事だと思います。

こういった活動を含めて、JAPPAはこれからも補修部品の安定供給という使命と、車社会の安心と安全に貢献するために、さらなる優良部品の普及に努めるべく活動を進めて参りたいと思つておりますので、本年も一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様方の今後のますますのご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。